

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 627 1 2020年 月号 1部60円 友の会会員は会費に含まれています 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi



謹賀新年



2020年 代々木病院職員一同

無差別・平等、質の高い医療・介護を追求します

新年ごあいさつ

院長 河邊博正



新年明けましておめでとうございます。昨年も皆様方からたくさんの御支援をいただき誠にありがとうございました。昨年は「無差別・平等の医療・介護の実践」を掲げ、差額ベッド料なしを堅持し、多くの入院患者さんを受け入れる事ができました。また、無料・低額診療についても積極的に取り組む事ができました。「総合的な医療・介護の質の向上」としては近隣の大病院と連携して、医療安全や感染症対策の質を向上する事ができました。さらに近隣の開業医さんや介護施設と連携し、地域の患者さんを多く受け入れることもできました。一方で友の会の仲間増やしの活動では満足のいく結果を出せませんでした。また、消費税は残念ながら増税を許してしまい、国民生活に大きな影を落とす結果となりました。新しい年を迎え心機一転、仲間増やしを諦めず粘り強く進め、力を結集して消費税の段階的な廃止に向けて取り組みを続けて行きます。

新年ごあいさつ

事務長 澤田和恵



新年明けましておめでとうございます。昨年中は、友の会・地域の皆さんを始めたくさんの方々へお世話になりました。昨年、私たち民医連は、綱領を学ぶブックレット(学習資料)「民医連の綱領と歴史」を発行し、民医連の綱領と歴史を学ぶ大運動をスタートさせました。

民医連の綱領は、職員の日々の仕事のよりどころ、力を合わせて活動する旗印であります。まさに私たちの羅針盤であり、民医連綱領の実現に向けて実践をするのが職員の役割です。大運動では、「なんのために、誰のために」民医連が存在し何を行うのか、現場の実践と結びつけて深め、民医連で働く意味ややりがいについて深めることや、各分野の活動をどのような考えでどうすすめるか、民医連運動の到達点や原則を学ぶことが求められています。職員は、様々な社会の矛盾や問題に立ち向かいながら、患者さん、利用者さんに寄り添った医療・介護、健康づくりの活動を行っています。情勢はますます厳しくなってきましたが、「市民が社会を動かす時代」の民医連の役割を果たし人権としての社会保障を進めてまいりたいと思います。

今年も平和といのちをまもり、健康づくりに力を尽くします

原水禁世界大会



輸入感染症学習会



沖縄県民投票支援



戦争を語り継ぐ会



いのちまもる国民集会



渋谷平和行進



千駄の萱

年末年始の様々な話題、ニュースの中でひととき大きな意味を持つ事件がありました。世界的に大きく報道されたので殆どの方がご存じでしょう。アフガニスタンの中村哲医師がテロにより亡くなられた事件です。▼医師として支援者として現地人から絶大な信頼を得ていた中村医師。外国人であるにもかかわらず、アフガニスタンの大統領から直接国家勲章を授与された程の方がなぜ狙われたのか。日本に居る我々がその理由を探しても、おそらく理解出来ない事なのでここでは取り上げないでおきます。ただアフガニスタンの想いは大統領自ら棺を担いだ、国葬とも言える姿勢に表れているでしょう。▼大国に翻弄され荒廃したアフガンで彼が成し遂げた事、成し遂げようとしていた事はなにか。私から見ると、日本国憲法の本質をもって本当の国際貢献を体現されたように見えます。国会でも自衛隊派遣には真っ向から反対されていた。軍事では無く、本当に心を持って一体となった支援をする真摯な姿勢。ナショナリズムが台頭する今だからこそ、光り輝くものだと思います。(ひ)